

「km提携個人タクシー」第1号 誕生

国際労働組合は、労働組合が目標とする「ゆとり・豊かさ」とは人生に於ける選択肢が多いこととして運動を進めています。

ここ数年来会社が新卒乗務社員やキャリア入社採用を強化するなど組合員の増加を受け、生涯に亘る生活構想支援強化の一環として、退職後の働き方の選択肢の多様化を図るべく、組合独自の取り組みである労働者供給事業に加え、kmの行灯のままで個人タクシーを開業することができることで将来に夢と希望が持てる環境の構築を会社に要請し、その後の様々な検討・調整の末昨年1月「km提携個人タクシー」制度が正式に誕生しました。

2016年4月1日の本年度の入社式に併せ開催された認定証授与式に於いて、羽田支部出身の小川和孝さんに「km提携個人タクシー第1号」の認定証が会社から授与されました。



小川さんと第1号のタクシー



第001号の認定証を手に

小川さんは、2016年4月15日（金）の「km提携個人タクシー」としての初乗務に向け、「記録に残る第1号となって、個人タクシーの評判も会社の評判も落とさないように頑張りたい。」と意気込みを語ってくれました。

また、2016年4月11日、国際労働組合のOB会「KLUフレンドリークラブ」に加入され、「KLUフレンドリークラブ」カードを手にされました。

組合は、今後小川さんに続く、「km提携個人タクシー」の皆さんに対し、フレンドリークラブへの加入により福利厚生施設の利用や各文体行事への参加など、組合との繋がりを維持し、会社を離れ個人事業主となっても元の仲間たちと楽しい時間を過ごせるよう支援していきます。



KLUフレンドリークラブのカードを手にする小川さん(中)と
茨木中央執行委員長(右)、米川KLUフレンドリークラブ会長(左)